

磐城農業高等学校生徒との座談会

主催：(一社)福島県建設業協会

福島県建設業協会では、建設関係学科に進学した生徒を対象に、将来の建設業界への就職に備え、進路希望者の不安解消や理解の増進を図ることにより、雇用のミスマッチの解消や建設業への進路選択者を増加させることを目的に、生徒との座談会を開催しております。

磐城農業高等学校の緑地土木科2年生と座談会を行い、座学として建設業が地域社会にどのような役割を果たしているのか、また新社会人に求められる資質についても学びました。また、地元建設企業等の方をアドバイザーとして招き、建設業の仕事のやりがいや魅力などを講話いただき、生徒が抱える建設業への就職に対する不安や疑問について意見交換を行いました。

- <日 時> 令和8年2月16日(月) 9:50~11:50
<場 所> 福島県立磐城農業高等学校 会議室(いわき市植田町)
<対象学年> 緑地土木科 2年生 32名
<コーディネーター> 緑地土木科 ご担当教諭3名
<アドバイザー> 地元建設企業2社(福浜大一建設株、クレハ建設株)
(一社)福島県建設業協会

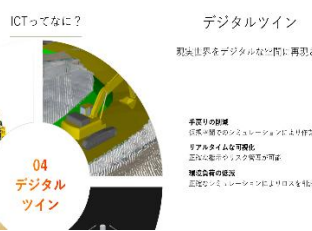
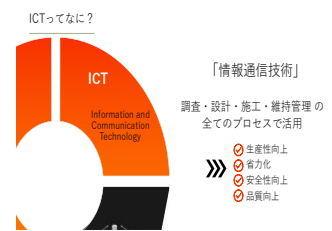
座学1「建設業の役割等について」

講師：(一社)福島県建設業協会 業務課長 木田文昭

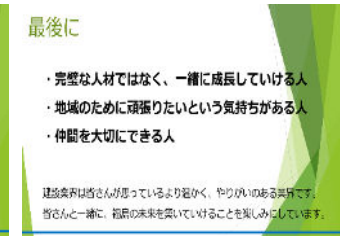
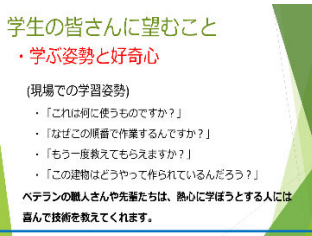
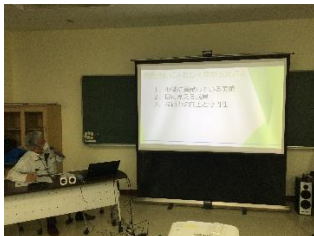


座学2「建設業への就職に向けて」

① ICT活用の現状と課題、今後の展望... 講師：福浜大一建設株 DX推進室 八木澤裕美さん

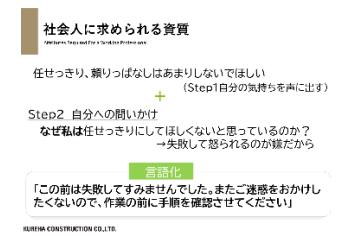
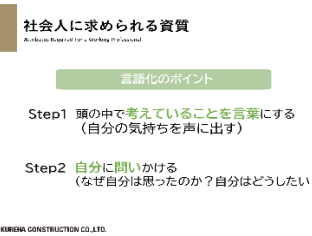


② 建設業を担う若手技術者に望むこと... 講師：福浜大一建設株 土木営業部長 式田克明さん



③ 新社会人に求められる資質... 講師：クレハ建設株

総務・人事部 今江真澄さん



グループワーク（意見交換）

事前に行った就職意向調査の集計結果を基に、生徒が就職する上で特に興味・関心を持っている項目に対して、建設業の現状をお伝えし、意見交換を行いました。

Q1 福利厚生について

A1 資格奨励制度がある。難しい資格(土木施工管理技士1級や行政書士など)を取得すると、お祝い金がもらえる。入社してからでも資格取得はできるので心配しなくてもよい。

Q2 休日について

A2 有給休暇のほかに、「ファミリーサポート休暇」という休暇制度があり、子供がいる家庭や介護しなければいけない家族がいる社員が取得できる。

Q3 高校性が学ぶべきこと

A3 色々な人とコミュニケーションをとってほしい。会社に入ると、メーカーの方や現場で働く方など幅広い年齢層・業種の人と話す機会が多い。言いたいことが言えないと現場が止まり、業務が進まなくなってしまうので、コミュニケーション力を磨いておくとうい。

Q4 どういう人が必要とされるか、また即戦力になれる人は

A4 きちんと質問できること。わからないことをそのままにしない。また、メモをとる習慣をつけるとよい。

Q5 学生と社会人の違い

A5 学生のうちは、先生が必要な情報を教えてくれる。社会人になると自発的に行動しないと、仕事についていけなくなり、置いていかれる。会社の一員として認められるには自発的に行動することが大事。

<座談会の様子>



<生徒からの感想>

複数の企業の特徴や建設業の魅力、社会人としてのアドバイスや心構えなどを学び有意義な時間を過ごすことができた。今回の座談会の内容をもとに、これからの進路活動や学業に活かしていきたいと思う。

<林科長講評>

普段、私たちが当たり前のように利用している道路や橋は、私たちの生活に欠かせない重要なインフラ。しかし、その存在の重要性を実感することは少ないかもしれない。座談会を通して建設業の魅力ややりがいを知ることができたと思う。建設業界では若い世代の力が求められているので、今後の進路選択の一つとして考えてほしい。

